

浜松市立可美小学校

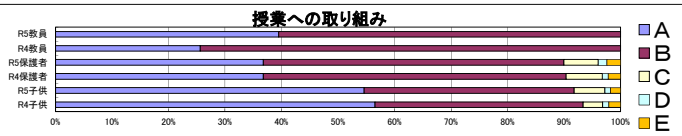
令和5年度後期 子供・保護者・教員による学校評価

例 A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない

グラフは左からABCDEで表されています

Q1 子供たちは、楽しく授業に参加している。

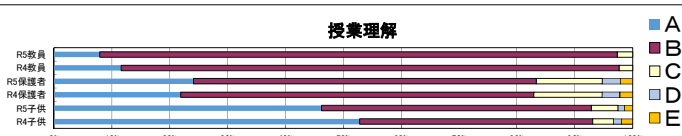
	R4子供	R5子供	R4保護者	R5保護者	R4教員	R5教員
A	410	392	252	261	11	15
B	267	267	367	378	32	23
C	25	39	44	43	0	0
D	8	7	7	11	0	0
E	15	13	15	17	0	0



「子供たちは、楽しく授業に参加している」の項目は「そう思う」と「大体そう思う」と答えた方が全体の90%以上を占め、授業に楽しんで取り組んでいる様子が分かります。しかし、子供の5パーセントは「授業が楽しくない」と答えており、これからも意欲的に授業に参加できるように工夫した授業を行えるようにしていきたいと思ひます。

Q2 子供たちは、授業の内容を理解できている。

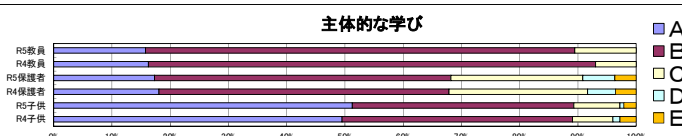
	R4子供	R5子供	R4保護者	R5保護者	R4教員	R5教員
A	383	332	150	171	5	3
B	292	335	418	421	37	34
C	26	33	81	81	1	1
D	10	8	21	22	0	0
E	14	10	15	15	0	0



子供も教員も「授業の内容が分かる」と答える割合が高かったです。昨年度とほぼ同じ結果でした。しかし「授業の内容が分からない」と答えている子供たちが7%程度います。それらの子供たちにどんな支援をしていくか、個に合った支援をして、基礎的な学力を身に付けさせる研修をしていきたいと思ひます。

Q3 子供たちは、授業の中で主体的な学びができている。

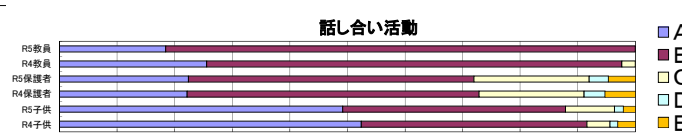
	R4子供	R5子供	R4保護者	R5保護者	R4教員	R5教員
A	359	368	124	123	7	6
B	287	273	341	361	33	28
C	50	57	163	161	3	4
D	9	5	33	39	0	0
E	20	15	24	26	0	0



子供の評価は、昨年度とあまり変わらず、85%程度が「考えをもって進んで学習に参加している」と答えました。教員は、昨年度と比べて高い評価になりました。今後も、研修主題である「自分の考えをもち、ともに学び合う子の育成」を目指し、研修を深めたいと思ひます。

Q4 子供たちは、友達と考え方を話し合い、相談したり話し合ったりする活動に意欲的に参加している。

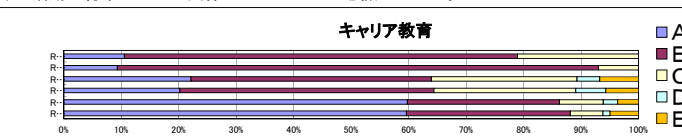
	R4子供	R5子供	R4保護者	R5保護者	R4教員	R5教員
A	380	353	152	159	11	7
B	284	278	347	352	31	31
C	29	61	125	142	1	0
D	10	11	25	24	0	0
E	22	15	36	33	0	0



子供は昨年度と大体同じ結果でした。教員は昨年より「子供たちが考えを広げようとしている」と答えた割合が高くなりました。主体的に調べたり話し合ったりする活動を通して、指導要領でねらう「主体的・対話的で深い学びの実現」に向け、本校の研修で求める単元構想の工夫と話し合いを深める活動を取り入れた授業改善に取り組みたいと思ひます。

Q5 子供たちは、キャリア教育の意義を理解し、今の活動と将来のことが関係していることを意識している。

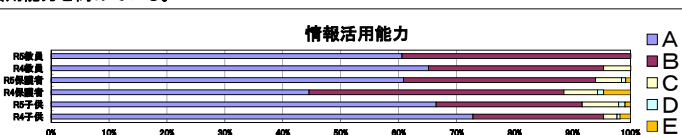
	R4子供	R5子供	R4保護者	R5保護者	R4教員	R5教員
A	432	429	138	157	4	4
B	207	190	303	297	36	26
C	41	55	169	180	3	8
D	9	18	36	28	0	0
E	36	26	39	48	0	0



昨年度と比べ、教員のキャリア教育への意識が高まりました。キャリア教育を重点項目として研修に取り組んでいることが表れた結果となりました。子供たちの評価も高くなっています。今後も学校生活全般において、学習が将来に向けているような場面で生きていく授業を心掛け、子供たちにもキャリア教育の意義が伝わるようにしていきたいと思ひます。

Q6 子供たちはICT教育に進んで取り組み、情報活用能力を高めている。

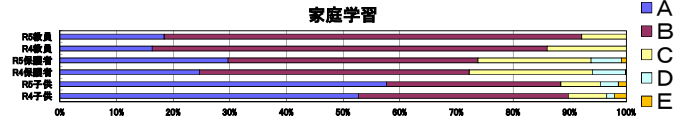
	R4子供	R5子供	R4保護者	R5保護者	R4教員	R5教員
A	528	477	305	432	28	23
B	163	181	301	235	13	15
C	17	45	40	32	2	0
D	4	8	7	5	0	0
E	13	7	32	6	0	0



ICT教育については、90%以上が「できている」と回答しました。今後も実践を進めるとともに、情報モラル教育も充実させていきたいと思ひます。

Q7 子供たちは、家庭学習の習慣が身に付いている。

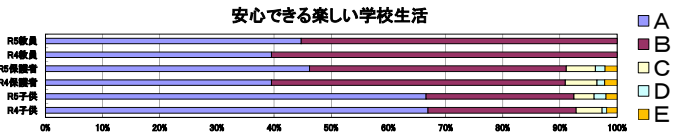
	R4子供	R5子供	R4保護者	R5保護者	R4教員	R5教員
A	382	414	169	211	7	7
B	269	221	326	313	30	28
C	49	50	149	142	6	3
D	10	23	40	38	0	0
E	15	10	1	6	0	0



家庭学習の取り組みについては、保護者が「できている」と回答した割合は75%程度と低かったです。昨年度よりは向上が見られますが、今後も家庭学習が習慣化されるよう手立てを工夫していききたいと思います。毎週水曜日のタブレットでの家庭学習も、引き続き取り組んでいきたいと思っています。

Q8 子供たちは、安心して楽しく学校生活を送っている。

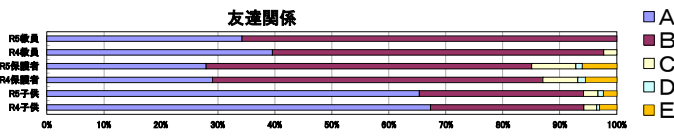
	R4子供	R5子供	R4保護者	R5保護者	R4教員	R5教員
A	485	478	271	328	17	17
B	188	186	352	319	26	21
C	33	25	38	36	0	0
D	6	15	9	12	0	0
E	13	14	15	15	0	0



90%近くの子供が「安心して楽しく学校生活を送っている」と回答しましたが、「そうではない」と回答した子もいます。「楽しくない、安心できない」と答えた子供たちの気持ちに気づき、寄り添った支援ができるといいと思います。

Q9 子供たちは、違う考えの友達とも尊重し合い、仲良く生活している。

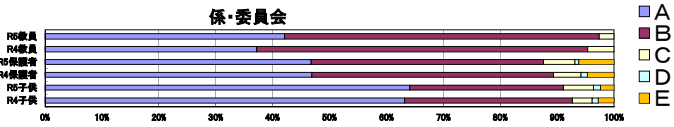
	R4子供	R5子供	R4保護者	R5保護者	R4教員	R5教員
A	488	469	199	198	17	13
B	195	207	397	405	25	25
C	16	18	42	55	1	0
D	4	7	9	8	0	0
E	22	17	38	43	0	0



昨年度より、子供も教員も「友達のよさを認め仲良く過ごしている」の割合が5%以上高くなり「だいたいそう思う」を合わせると95%を超えました。思いやりの気持ちをもって生活できている子供たちが多いことの表れだと思います。「仲良く過ごしていない」と答えた子供たちが、上手に関わっている周りの友達から関わり方を学ぶ機会が増えるといいと思います。

Q10 子供たちは、係や委員会の仕事を一生懸命頑張っている。

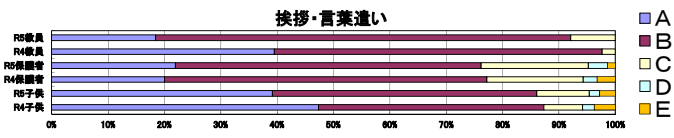
	R4子供	R5子供	R4保護者	R5保護者	R4教員	R5教員
A	458	460	321	332	16	16
B	214	194	291	290	25	21
C	25	38	33	39	2	1
D	8	9	8	5	0	0
E	20	17	32	44	0	0



2年とも90%近くの子供と教員が「係や委員会の仕事を頑張っている」と答えました。10%程度の「頑張っていない」と答えた子供たちに、今後、活躍の場を設定して、やりがいや達成感が感じられるようにしていきたいと思っています。

Q11 子供たちは、明るい挨拶や正しい言葉遣いをしている。

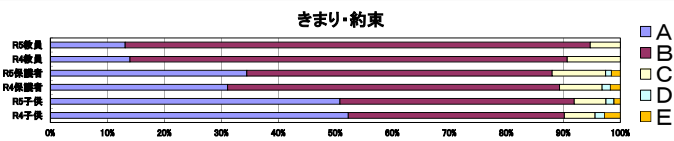
	R4子供	R5子供	R4保護者	R5保護者	R4教員	R5教員
A	343	281	137	156	17	7
B	290	337	392	385	25	28
C	50	67	117	135	1	3
D	15	13	17	24	0	0
E	27	20	22	10	0	0



挨拶や言葉遣いに関しては、80%程度が「できている」と回答しました。挨拶に関しては「挨拶協力校」ということもあり挨拶に関する意識は高まっていると思います。挨拶や言葉遣いは基本的な生活習慣です。明るい挨拶のできる子供、正しい言葉遣いのできる子供を、学校、家庭、地域大人も子供もみんなで意識していきたいと思っています。

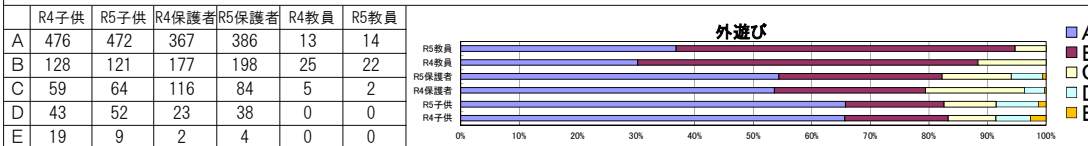
Q12 子供たちは、きまりや約束、マナーを守って生活している。

	R4子供	R5子供	R4保護者	R5保護者	R4教員	R5教員
A	379	365	213	245	6	5
B	275	295	399	380	33	31
C	39	40	51	67	4	2
D	12	10	10	7	0	0
E	20	8	12	11	0	0



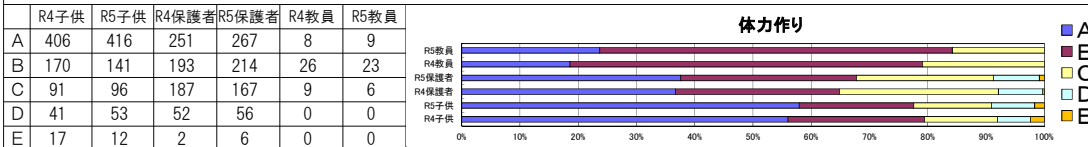
教員の評価が、子供に比べて低く、差があります。昨年より教員の評価は高くなっているようにも思いますが、「守っていない」の割合は高くなりました。子供の評価はほとんど変わっていません。一部の守れない子供たちにどう支援、指導していくのかをみんなで共通理解して、全職員同じ姿勢で指導していきたいと思っています。

Q13 子供たちは、体を動かしたり、外で遊んだりすることが好きである。



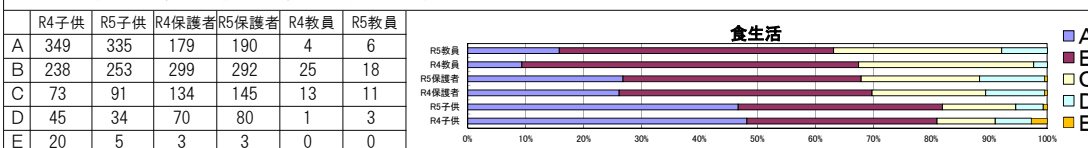
「体を動かしたり、外で遊んだりすることが好き」と70%程度の児童が回答しましたが、「そうではない」と回答した児童が20%近くおり、2極化が進んでいます。運動することのよさや楽しさを感じられるような活動や場を設定していきたいと思います。また、短期的な運動の意義だけでなく、生涯スポーツを意識させ、将来にわたりスポーツをより身近なものとしていきたいと思っています。

Q14 子供たちは、進んで外遊びや体力作りをしている。



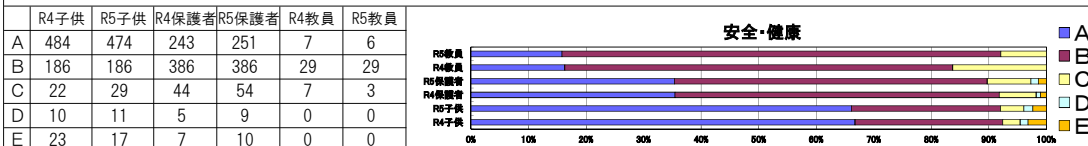
Q13に続いて「進んで外遊びや体力作りをしていない」の回答が高くなっています。さらに、教員の「そう思わない、あまりそう思わない」の割合も高くなっています。子供たちの体力低下が課題となっています。外遊びや体力作りをどう推奨していくのか、検討していきたいと思っています。

Q15 子供たちは、好き嫌いなく給食を食べている。



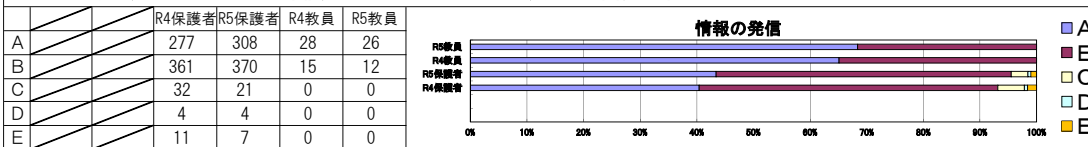
「好き嫌いなく食事をしている」と回答した割合が児童は80%程度、保護者は70%程度となっています。栄養バランスよく朝食を食べている子供の割合も低くなっています。給食指導を通し、子供たちにバランスの良い食事をする事の大切さを指導していきたいと思ひます。家庭でも子供たちにバランスの良い食事をする事の大切さを指導していただけると良いと思ひます。

Q16 子供たちは、安全や健康に気を付けて生活している。



子供も教員も90%近くが「安全や健康に気を付けて生活している」と回答し、昨年度よりも全体的に評価が高くなりました。差はありますが、どの子供も安全や健康に気を付けて生活できていると思ひます。保護者の方への協力も不可欠なので、今後も家庭と連携しながら進めていきたいと思ひます。

Q17 学校は、たよりやさくら連絡網、ホームページ等を通して、必要な情報を発信している。



学校では、定期的に学校だより・学年だより・保健だより・給食だより等を発行し、子供たちや保護者の皆様に情報発信しています。また、必要な情報は、メールや手紙で正確かつ迅速にお知らせできるようにしています。さらによりよい伝え方について今後も検討していきます。